

せっかくなつけた浄水器

なぜ撤去するの??

子どもの身体は65%が水
だからこれ以上汚染水を飲ませないで!

PFAS汚染水の欧米の規制値は1桁(けた)です。

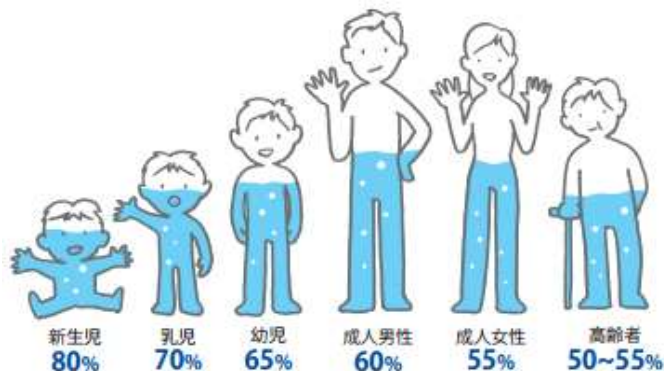
(アメリカ・4ng/L、デンマーク・2ng/L)

日本の目標値50ng/L以下になったからと、安心できる数値ではありません。

小・中学校等の浄水器撤去はありえません。

ただちに浄水器の再設置を!

人体の体重に占める水分量の割合



「環境省・熱中症予防情報サイト」より

小・中学校のPFAS対策用

市に浄水器撤去中止を緊急申し入れ



(要請文を副市長に手渡す共同代表)

「いのちの水を守る会」は4月10日、市に「小・中学校におけるPFAS対策用の浄水器撤去の中止を求める」緊急申し入れをしました。

その際、県と市の合同会議において目標値50ng/L以下になったことを理由に撤去に至ったと説明を受けました。それに対し、私たちは欧米がPFAS規制値を1桁台にするなど規制を強める中、10~20台後半で推移するPFAS汚染水を飲ませ続けることは子どもの命や健康を脅かすものであり直ちに再設置を求めました。しかし、市は目標値以下を理由にかたくなに浄水器再設置を拒みました。今後、県に申し入れます。

「いのちの水を守る会」PFAS汚染水問題で

国と2度目の交渉

「いのちの水を守る会」は4月1日、防衛省・厚生労働省・環境省・総務省等に対しPFAS汚染水問題で下記の要請を行い、話し合いをしました。

国に要請した内容

- 欧米並みにPFAS基準値設定すること。
- 岐阜基地の土壌検査をして、結果を公表すること。
- 希望する国民全員の血液検査・健康調査を行うこと。
- 血液検査・分析できるような体制をつくること。
- 国民にPFASに関する最新の科学的知見を広めること
など8項目を要請しました。



(Zoomで政府と交渉をする市民の会)

「情報隠さないで市民の声に答えよ」と国に迫る。

岐阜基地内の土壌調査実施について、防衛省は基地とPFASの因果関係は特定されていない、測定値を評価する基準がないと土壌調査を行わないと回答。それに対し土壌調査は行わなければ基準がいつまでたってもできないと反論。また基地内の井戸水調査では暫定目標値を上回っていたにもかかわらず、下回っていたと回答しました。「いのちの水を守る会」は情報を隠すべきではないと抗議をしました。「いのちの水を守る会」は、海外にならってPFAS汚染の基準値を下げるべきだ、子どもや市民の健康を守る立場に立ってほしいと要望しました。

体内に取り込まれたPFASは95%抜けるのに40年も!

PFASは残留性が強く、いったん身体に入ると95%抜けるまでに40年もかかります。

わずかであってもPFAS汚染水を飲み続ければいつまでも体内(正確には血液中)に残り様々な病気のリスクを抱えることとなります。アメリカやデンマークが規制値を1ヶタ台にした理由の一つがここにあります。日本の規制値50ng/Lはとても安全とは言えません。

そしてPFASへの誤解の一つにPFASが身体に残れば多くの人が病気になる、があります。

いいえ、PFASに汚染された水を飲み続ければ、病気になる恐れが高まるのです。

いま、国や市にPFASへの規制を強めるよう要請することが求められています。



「いのちの水を守る会」
入会QRコード

PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会

2024年4月発行

略称「いのちの水を守る会」

問合わせ先

各務原市新鷺沼台5-140 三戸 光則

☎ 080 5160 4462